

矢岳山頂

ここは矢岳の頂上（971 m）である。山は雲仙の初期の火山活動中である約 30 万年から 15 万年前に形成され、今では新しい、さらに高い山々を北に望める眺めの良好な場所である。

ここから北西に、千々石断層が島原半島と残りの長崎県都を視覚的に分ける橘湾が見える。北にあるのは妙見岳(1,333 メートル)と平成新山(1,486 メートル)だ。平成新山は半島で最も若く高い山で、1995 年まで活動していた。野岳(1,142 メートル)の頂上は東に近く、さらに東には有明海があり、これによって半島が熊本から分かれている。